

(★)の事業は、既存の個別計画に沿って事業を実施し、その達成度を判断

●再掲載の事業は、「(再掲)」と記載
●担当課が具体的事業計画を記載

担当課が具体的な実績、評価及び課題を記載

方向性とその理由を記載

- 【方向性】
- ① … 継続して実施
 - ② … 改善を検討
 - ③ … 縮小もしくは廃止
 - ④ … その他

例) 人権・男女共同参画課 令和4年度指定施策

事業番号	計画の体系			個別事業	担当課	令和4年度 取組内容(事業概要)	取組実績と 担当課の評価	達成度 (評価値) ※担当課に おける 自己評価	事業の方向性
	主要課題	主項目 (共通課題)	推進施策						
3	人権全般	人権課題への理解を促し、行動につなげるための教育と啓発	人権課題に関する学習機会の提供	-	人権・男女共同参画課	<p>【概要】1人ひとりが人権の意義についての理解を深め、すべての人の人権を尊重する意識や行動を身につけるため、人権に関する学習機会の充実を図る。</p> <p>【主な事業】①各人権課題をテーマとした研修会や講演会、映画上映会の実施 ②様々な広報媒体を用いた啓発 ③岸和田市人権施策推進プランの周知及び理解促進</p>	<p>◎実績 ③下記的手段でプランの周知・理解促進を図った。 (1)市内公共施設への設置(8か所)(2)広報きしわだ及び人権啓発紙「人の輪」による全戸配布(4月・12月)(3)人権関係団体及び研修会等参加者への配布、趣旨説明</p> <p>◎評価 多くの市民にプランを周知することができた。また、人権関係団体や研修会参加者へ、行政との協働と連携について協力を依頼することができた。 (①②の取組については省略)</p>	4	<p>方向性 ②</p> <p>理由 若年層の参加者が少ない現状も踏まえ、幅広い市民が参加できるよう開催日時や、申込や周知方法の改善を検討していく必要があるため。</p>

1

プランから転記
中間見直しまで同じ内容

担当課が自己評価により達成度を記載(5段階評価)。

予期しない事由による事業中止など、評価が困難になった場合は評価対象外(「-(ハイフン)」表記)とする。